

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	総合的な学習の時間の指導法	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年						
授業のねらい (到達目標)	実践的指導力を有する教員としての資質を高められるように, 基礎的な知識習得と教育現況をつかめるようにする。 子どもの生活に根ざした学校や学級の「総合的な学習の時間」年間計画立案ができるようにする。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学習と総合的な学習の時間との違い</li> <li>・総合的な学習の時間のねらいと目標そして内容</li> <li>・総合的な学習の時間の計画立案</li> <li>・総合的な学習の時間の評価</li> </ul>						
テキスト	小学校 学習指導要領 総合的な学習の時間 編						
授業計画	第1回	総合的な学習の時間の思い出を振り返ろう					
	第2回	総合学習と総合的な学習の時間との違い					
	第3回	総合学習と総合的な学習の時間との違い					
	第4回	低学年生活科と総合的な学習の時間とのかかわり					
	第5回	学習指導要領における総合的な学習の時間の位置づけ					
	第6回	総合的な学習の時間における, 他者との課題解決の重要性					
	第7回	総合的な学習の時間における, 他者との課題解決の重要性					
	第8回	総合的な学習の時間における評価のあり方					
	第9回	総合的な学習の時間における評価方法					
	第10回	総合的な学習の時間の年間計画と学校づくり					
	第11回	総合的な学習の時間の学年, 学級年間計画					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	理科指導法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	今井 真悟	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での38年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・学習指導要領やテキスト、教科書の実践例から学習指導について学び、理科指導法を実践的に習得することを目指す。						
授業概要	・学習指導要領やテキストから、学習指導要領の改訂の意図、小学校理科の目標をより具体的に学ぶ。 ・各分野の学習材、指導事例から学習指導の方法、指導案、留意事項等を実践的に学ぶ。						
テキスト	理科指導法(姫路大学)						
授業計画	第1回	学習指導案の書き方～価値ある内容をどんな育ちの子どもたちにどう教えるか～					
	第2回	問題解決学習と科学的な見方・考え方					
	第3回	理科の内容、目標、方法					
	第4回	ICTの活用(パワーポイント、動画、写真等の活用)					
	第5回	理科における協同学習の方法(話し合いのルールと発表の仕方)					
	第6回	理科における指導と評価の一体化					
	第7回	意外性のある実験が入った授業～深い学びに導くには～					
	第8回	発問と予想の提示の仕方～問題解決学習から見通しを持った実験・観察の方法を学ぶ					
	第9回	板書の計画の立て方～情報活用・表現スキル育成と板書の構成の仕方を学ぶ。					
	第10回	模擬授業の実践①「比較実験」～物質領域:小学校3年～電気を通すもの、光の性質					
	第11回	模擬授業の実践②「関係付け実験」～エネルギー領域:小学校4年～水の三つの姿、ものあたたまり方					
	第12回	模擬授業の実践③「条件制御実験」～エネルギー領域:小学校5年～ふりこのきまり、電磁石のはたらき					
	第13回	模擬授業の実践④「多面的判断、推論実験」～物質領域:小学校6年～水溶液の性質、金属と酸・アルカリ					
	第14回	模擬授業の実践⑤「多面的判断、推論実験」～地球領域:小学校6年～月と太陽、大地のつくりとはたらき					
	第15回	模擬授業を振り返って ～論作文「模擬授業体験から主体的で対話的な深い学びに導く授業とは」～					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	音楽科指導法	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年						
授業のねらい (到達目標)	音楽科の目標と内容を理解し, 音楽科の授業づくりの基本を習得する 音楽科学習指導案作成を行う						
授業概要	H29年度学習移動要領に基づく, 小学校音楽科学習指導における基本を身につける。 また, 音楽科学習指導案作成を通じ, メリハリをつけた音楽科授業の流れを理解し, 実習で音楽科指導を行う場合には, 実践できるようにする。指揮法の基礎を理解するとともに, 指揮技術を身につける。						
テキスト	姫路大学 音楽科指導法テキスト, 小学校音楽科教科書「小学生の音楽1-6年」						
授業計画	第1回	音楽科の教科的特徴について					
	第2回	音楽の領域の構造について(A表現, B鑑賞, 共通事項)					
	第3回	音楽科指導案作成について					
	第4回	教科書教材曲の特徴と指導の実際について					
	第5回	指揮法について					
	第6回	「音楽づくり」単元について					
	第7回	「音楽づくり」単元について					
	第8回	指導案作成演習					
	第9回	指導案作成演習					
	単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常
平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%		10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	保育内容(環境Ⅱ)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 領域「環境」のねらいの意義を理解し、適切なねらいを立て、計画を実践する。</li> <li>2. 子どもを取り巻く様々な環境について理解し、身近な環境への問題意識を持つ。</li> <li>3. 計画実践を通して、保育実践力向上を図る。</li> </ol>					
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学び、保育の環境や環境構成のあり方について考え、課題解決のための保育計画の立案を行い、計画実践する。					
テキスト	なし					
授業計画	第1回	子どもの身近な環境の変化についての考察と領域のねらいの意義				
	第2回	環境の変化についての考察からのねらいの設定				
	第3回	校外学習計画				
	第4回	校外学習計画				
	第5回	校外学習計画				
	第6回	校外学習計画				
	第7回	指導案の作成				
	第8回	指導案の作成				
	第9回	校外学習				
	第10回	校外学習				
	第11回	校外学習				
	第12回	校外学習				
	第13回	振り返り				
	第14回	振り返り				
	第15回	振り返り				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期									
科目名	保育内容(健康Ⅱ)	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無	×											
実務経験教員の経歴														
授業のねらい (到達目標)	乳幼児期から児童期にかけての運動発達について説明できる。虐待の内容を説明でき、いのちの大切さを育む教育・保育を考えることができる。													
授業概要	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な基本的知識、内容、方法を理解、習得する。													
テキスト	幼稚園教育要領解説, 保育所保育指針解説, 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説													
授業計画	第1回	遊びについて 子どもにとっての遊びとは												
	第2回	遊びについて 遊びの種類												
	第3回	運動遊び 基本的な動作												
	第4回	運動遊び 運動指導の在り方												
	第5回	伝統行事と園行事												
	第6回	安全教育と安全管理 事故の特徴												
	第7回	安全教育と安全管理 安全教育												
	第8回	安全教育と安全管理 危機管理体制												
	第9回	指導案作成: 安全教育												
	第10回	指導案作成: 安全教育												
	第11回	模擬保育												
	第12回	模擬保育												
	第13回	模擬保育												
	第14回	虐待といのちの教育												
	第15回	子どもの健康と保育者の役割												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	保育内容人間関係Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域人間関係のねらいや内容の取扱いについて理解する。</li> <li>・人間関係の発達や自立心・協同性の発達を理解し、保育実践に応用できる。</li> </ul>					
授業概要	1) 事例を用い、さまざまな子どもの人と関わる力の育ちを考察する。 2) 保育者としてどのように人と関わる力を育てていくのか、保育者として子どもとどのような関係を築いていくか考察する。					
テキスト	幼稚園教育要領,保育所保育指針					
授業計画	第1回	保育の基本と人との関わり				
	第2回	演習1「私は誰」「対人関係図」、ワークシート1				
	第3回	乳児期における人との関わりの発達、ワークシー2				
	第4回	遊びの中で育つ人との関わり、演習3、ワークシート3				
	第5回	人との関わりを育てる保育の充実・保育者の役割				
	第6回	人との関わりが難しい子どもへの支援				
	第7回	園、家庭、地域の生活と人との関わり				
	第8回	演習4、事例 グループワーク				
	第9回	ワークシート4、領域人間関係をめぐる諸問題				
	第10回	単位認定試験				
	第11回	インドプロジェクトの事例から保育内容を考察する				
	第12回	インドプロジェクトの事例から5領域の関連を考察する				
	第13回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える				
	第14回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)①				
	第15回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)②				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	教育実習(小学校)	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年				
授業のねらい (到達目標)	<p>1)教育実習の意義、心構えについて理解することができる。</p> <p>2)教育職員としての心構えについて理解することができる。</p> <p>3)実習日誌や指導案等作成について理解することができる</p> <p>4)実習の成果をレポートにまとめることができる。</p>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場において授業の観察および実践を行い、実践的指導力の基礎を習得する。</li> <li>・指導教員の下で学級経営に携わり、学級担任の業務とともに児童生徒を理解する。</li> <li>・学校での諸活動に関わりながら、教職員としての職務およびサービスを遂行する。</li> </ul>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習校による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・授業実践・生徒指導の評価基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	理科	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	今井 真悟	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での38年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	学習指導要領や教科書から、授業での実践を学ぶ、学習指導の方法を習得することを目指す。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行学習指導要領が改訂されるまでの経緯を踏まえ、小学校理科の目標について学ぶ。</li> <li>・小学校理科の各領域の基本事項を教科書の指導事例を考察し、指導方法を実践的に学ぶ。</li> </ul>						
テキスト	理科(姫路大学)						
授業計画	第1回	1章 学習指導要領に見る小学校理科の全貌 —小学校理科で培いたい資質・能力が何か知る—					
	第2回	2章 授業構想 ～事例研究～ 3. 3年 じしゃくにつくもの					
	第3回	2章 授業構想 ～事例研究～ 6. 4年 かん電池とモーターの回る速さ					
	第4回	2章 授業構想 ～事例研究～ 14. 5年 ふりこが1往復する時間					
	第5回	3章 「化学」領域の内容の基本事項 粒子概念 小学校6年 水溶液のはたらき					
	第6回	学習指導要領 第2章理科の目標及び内容 第2節理科の内容構成 思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等に関する学習指導要領の主な記載					
	第7回	2章 授業構想 ～事例研究～ 19. 6年 月の形の見え方と太陽 4章 「地学」領域の内容の基本事項 1 地球の周辺 小学校4年 月と星					
	第8回	2章 授業構想 ～事例研究～ 2. 3年 電気を通すもの・通さないもの					
	第9回	2章 授業構想 ～事例研究～ 4. 3年 ものの形と重さ					
	第10回	2章 授業構想 ～事例研究～ 7. 4年 とじこめた空気のせいしつ					
	第11回	2章 授業構想 ～事例研究～ 16. 5年 電磁石の強さが変わる条件					
	第12回	2章 授業構想 ～事例研究～ 20. 6年 てこのうでをかたむけるはたらき					
	第13回	5章 「地学」領域の内容の基本事項 2 地球の内部 小学校6年 土地のつくりと変化					
	第14回	6章 小学校理科と中学校理科との関連					
	第15回	7章 小学校理科と中学校理科との関連 義務教育で培いたい進化・遺伝・生態の概念					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						



# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期									
科目名	外国語(英語)	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	堀切 修宏	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	小学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営													
授業のねらい (到達目標)	児童を対象にする外国語(英語)教育について、それぞれの発達段階における具体的な指導内容を理解することができる。													
授業概要	小学校における英語教育を進めるために、児童の発達段階の特徴を知り、発達段階に応じた英語教育を実践できるよう知識を深める。													
テキスト														
授業計画	第1回	小学校における英語教育について												
	第2回	学習指導要領の目標と内容												
	第3回	第二言語の習得について												
	第4回	英語学習の具体的なあり方												
	第5回	指導の効果的なインプット												
	第6回	英語の音声												
	第7回	発音と綴りの関係												
	第8回	文法指導												
	第9回	読む活動「絵本」												
	第10回	読む活動の具体的指導												
	第11回	話す活動												
	第12回	指導者に求められる話す力												
	第13回	評価規準と観点別評価												
	第14回	いろいろな教材												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	教育方法論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年						
授業のねらい (到達目標)	教育方法の歴史を振り返るとともに、指導や学習における基礎的な知識を身につけさせる。						
授業概要	教育史、学習方法、教材、学習評価の方法を中心に行う。 授業を通して得た知識を幼児教育、保育に近づけて考えられるようにする。						
テキスト	小学校 学習指導要領 総合的な学習の時間 編						
授業計画	第1回	・教育方法学の位置と教育方法の意義					
	第2回	・教育方法の守備範囲及び教育目標と内容との関係等					
	第3回	・教育方法の歴史的展開(近代の教育・現代の教育)					
	第4回	・教育方法の歴史的展開(現代の教育・教育工学)					
	第5回	・我が国における教育方法の変遷(1)					
	第6回	・我が国における教育方法の変遷(2)					
	第7回	・授業の概念と学習指導の形態					
	第8回	・授業と生徒指導の実際(1)					
	第9回	・幼児教育の方法(1)					
	第10回	・幼児教育の方法(2)					
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	生徒指導・進路指導	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	吉原 修英	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	生徒指導及び進路指導の理論と方法を理解する。						
授業概要	生徒指導や進路指導の意義と方法について生徒指導提要をもとに理解する。また、児童生徒の不応行動等現代的課題の対応について定義や教員に求められる役割、指導のあり方について整理して学ぶ。						
テキスト	生徒指導提要						
授業計画	第1回	生徒指導・進路指導とは					
	第2回	生徒指導の領域・内容における社会性指導, 独善的指導態度, 孤立主義的指導態度					
	第3回	非社会的な行動と反社会的な問題行動					
	第4回	いじめの定義, いじめの構造, いじめ対策について					
	第5回	児童虐待の定義					
	第6回	不登校に関する基本的な考え方					
	第7回	児童生徒の発する問題行動のサイン					
	第8回	児童生徒理解の必要性					
	第9回	集団指導における教育的意義					
	第10回	学校における生徒指導体制					
	第11回	キャリア教育					
	第12回	ケース会議, 職員の専門性と協働性					
	第13回	予防的教育相談					
	第14回	生徒指導の機能を生かした学校行事の在り方					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する			50%	25%	10%	15%

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	生徒指導の理論と方法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	吉原 修英	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行						
授業のねらい (到達目標)	生徒指導及び進路指導の理論と方法を理解する。						
授業概要	生徒指導や進路指導の意義と方法について生徒指導提要をもとに理解する。また、児童生徒の不適應行動等現代的課題の対応について定義や教員に求められる役割、指導のあり方について整理して学ぶ。						
テキスト	生徒指導提要						
授業計画	第1回	生徒指導・進路指導とは					
	第2回	生徒指導の領域・内容における社会性指導, 独善的指導態度, 孤立主義的指導態度					
	第3回	非社会的な行動と反社会的な問題行動					
	第4回	いじめの定義, いじめの構造, いじめ対策について					
	第5回	児童虐待の定義					
	第6回	不登校に関する基本的な考え方					
	第7回	児童生徒の発する問題行動のサイン					
	第8回	児童生徒理解の必要性					
	第9回	集団指導における教育的意義					
	第10回	学校における生徒指導体制					
	第11回	キャリア教育					
	第12回	ケース会議, 職員の専門性と協働性					
	第13回	予防的教育相談					
	第14回	生徒指導の機能を生かした学校行事の在り方					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期									
科目名	書写	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	岡村 浩	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	小学生対象の「文字と書道に親しむ」硬毛筆公開講座、「文字文化に関する意識」として小中高教員を対象とした指導法講座を定期的に関講													
授業のねらい (到達目標)	書写の指導力を身につけるために、硬筆・毛筆・文字・書写の指導内容に関する基礎的な知識と技術を修得する。													
授業概要	書写の指導力を身につけるための学習。硬筆・毛筆・文字・書写の指導内容に関する基礎的な知識と技術の修得を目指す。													
テキスト	なし													
授業計画	第1回	書写について												
	第2回	書写の学習内容												
	第3回	文字、「漢字」の成り立ち説明												
	第4回	文字、「かな」の成り立ち説明												
	第5回	「かな、漢字仮名交じり文」の練習①												
	第6回	「かな、漢字仮名交じり文」の練習②												
	第7回	添削について												
	第8回	採点、評価の仕方												
	第9回	指導案 毛筆												
	第10回	指導案 硬筆												
	第11回	ひらがな表記の作品												
	第12回	ローマ字表記の作品												
	第13回	カタカナ表記の作品												
	第14回	自由作品づくり												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	薬理学	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	安達 博	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	薬剤師として、調剤薬局の経営ならびに勤務					
授業のねらい (到達目標)	薬物に対する基本的な知識を習得できるようにする。					
授業概要	様々な疾患の薬物治療について理解するとともに、薬物の特徴、作用機序、人体に及ぼす影響について学ぶ。					
テキスト	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち					
授業計画	第1回	オリエンテーション				
	第2回	体内における薬の動きと				
	第3回	気管支喘息について				
	第4回	細菌感染とウイルス感染				
	第5回	てんかんについて				
	第6回	糖尿病について				
	第7回	精神疾患について うつ病, 不眠症				
	第8回	精神疾患について 統合失調症				
	第9回	パーキンソン病				
	第10回	アルツハイマー型認知症				
	第11回	高血圧				
	第12回	狭心症, 心筋梗塞				
	第13回	不整脈, 心不全				
	第14回	脂質異常症				
	第15回	まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴					
	第8回	非言語コミュニケーション					
	第9回	自己覚知(演習)					
	第10回	価値観(演習)					
	第11回	記録(演習)					
	第12回	社会資源(演習)					
	第13回	事例分析①					
	第14回	事例分析②					
	第15回	事例分析③					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	教職実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年					
授業のねらい (到達目標)	大学4年間で学んだ学習知と教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力等の実践知と統合を図り, 使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質構築と確認を行う					
授業概要	① 使命感や責任感, 教育的愛情 ② 社会性や対人関係能力 ③ 幼児児童生徒理解や学級経営力 ④ 教科・保育内容の指導力					
テキスト	「教職実践演習」(上越教育大学出版会)ワークブックを使用					
授業計画	第1回	学級経営における教師の対応(ロールプレイング)				
	第2回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)				
	第3回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)				
	第4回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)				
	第5回	学級経営案立案				
	第6回	非違行為と法規				
	第7回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)				
	第8回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)				
	第9回	児童会活動・自治的活動時の子どもの動かし方				
	第10回	児童会活動・自治的活動時の子どもの動かし方				
	第11回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業				
	第12回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業				
	第13回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業				
	第14回	教職への理解				
	第15回	教職への理解				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						



# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	教育実習(小学校)	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年				
授業のねらい (到達目標)	<p>1)教育実習の意義、心構えについて理解することができる。</p> <p>2)教育職員としての心構えについて理解することができる。</p> <p>3)実習日誌や指導案等作成について理解することができる</p> <p>4)実習の成果をレポートにまとめることができる。</p>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場において授業の観察および実践を行い、実践的指導力の基礎を習得する。</li> <li>・指導教員の下で学級経営に携わり、学級担任の業務とともに児童生徒を理解する。</li> <li>・学校での諸活動に関わりながら、教職員としての職務およびサービスを遂行する。</li> </ul>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習校による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・授業実践・生徒指導の評価基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	地域ボランティア	授業形態	実習	単位数	1単位
担当教員	三好 賢治	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	社会福祉士として障害者の入所及び通所施設、障害者グループホーム等において勤務				
授業のねらい (到達目標)	地域貢献の一環として、地域ボランティアを必修としています。この活動を通して社会貢献の現状と課題を学び、その中で自分自身と社会のつながりを見直すことで、教職を目指すものとして改めて自覚を高めてもらいたい。				
授業概要	<p>1. 活動内容 地域の特色を生かした奉仕活動、地域社会に対する奉仕活動であることを前提とする。くわしい活動内容は、活動先と相談し決定する。</p> <p>2. 活動時間 活動先が複数になっても構わないが、活動時間の合計が45時間となるよう調整する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>活動の評価はボランティア活動報告書に第三者が記入・証明を行うものとする。</p> <p>活動の評価及び活動記録を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)		
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導28年						
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。						
授業概要	保育園において、指導者が園児に指導している様子を1歳児～5歳児まで見学し、年齢別指導法を学習する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながら、ねらいも含めて学習し、就職してから実践できるようにリトミックの楽しさを体験する。						
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業						
授業計画	第1回	リトミックとは					
	第2回	わらべうた					
	第3回	からだのなかの音楽					
	第4回	ビートにのる①					
	第5回	ビートにのる②					
	第6回	拍子を感じる①					
	第7回	拍子を感じる②					
	第8回	フレーズ・呼吸・空間①					
	第9回	フレーズ・呼吸・空間②					
	第10回	ロープdeゲーム～イメージあそび～					
	第11回	対話を楽しもう～即興演奏～					
	第12回	歌&楽器deゲーム①					
	第13回	歌&楽器deゲーム②					
	第14回	音楽と動き					
	第15回	自然な動きを用いた音楽ゲーム					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	テクノスクールから委託された職業訓練校でのPCインストラクター 官公庁の職員対象のPC研修						
授業のねらい (到達目標)	就職してから作成することになるおたよりを作成できるようにする(ひな型を使用せずに新規で作成する)。後期の最終成果物であるデジタル絵本をPowerPointで作成してもらうため、PowerPointの基本操作をおさえる						
授業概要	前半:Wordを用いたおたより作成(作成上のポイント説明後、各自演習) 後半:PowerPointの基本操作(前期期末試験はPowerPointで行う) 毎回その日の授業時間内に作成した成果物を提出してもらうため、USBメモリを必ず持ってくる						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより文例&amp;イラストカット集</li> <li>・できるPowerPoint2019</li> </ul>						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	おたより作成					
	第3回	おたより作成					
	第4回	おたより作成					
	第5回	おたより作成					
	第6回	おたより作成					
	第7回	前期中間課題作成					
	第8回	前期中間課題作成					
	第9回	前期中間課題作成					
	第10回	PowerPoint基本操作					
	第11回	PowerPoint基本操作					
	第12回	PowerPoint基本操作					
	第13回	PowerPoint基本操作					
	第14回	期末前演習					
	第15回	期末前演習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)	
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導					
授業のねらい (到達目標)	デジタル絵本の作成					
授業概要	画像・図形の作成・編集、アニメーションの設定、音楽の挿入など、デジタル絵本作成に役立つ機能を演習を通じて扱う 10コマ目にデジタル絵本の絵コンテを提出してもらう					
テキスト						
授業計画	第1回	ペイントを用いた描画演習				
	第2回	ミュージックビデオの作成				
	第3回	写真入りの年賀状作成				
	第4回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス				
	第5回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス				
	第6回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス				
	第7回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス				
	第8回	中間試験前演習				
	第9回	後期中間試験				
	第10回	デジタル絵本の作成				
	第11回	デジタル絵本の作成				
	第12回	デジタル絵本の作成				
	第13回	デジタル絵本の作成				
	第14回	デジタル絵本の作成				
	第15回	デジタル絵本の作成				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	